

# 万博公園探鳥会

2024年9月14日(土)

リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## I 千里の鳥・万博の鳥「センダイムシクイ」

(写真 橋本昌宗)

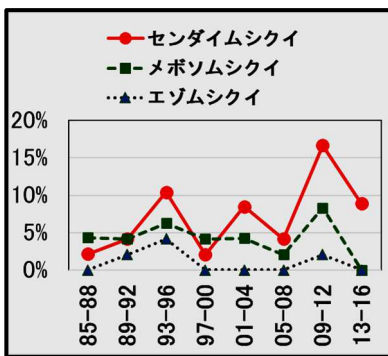
8月定例探鳥会は夏休みとしたが、リーダーのみでのモニタリングを8/24に実施し、秋の渡り鳥の走り(先発隊)として**センダイムシクイ**を観察したので、紹介する。

ムシクイ科の鳥には、**センダイムシクイ・エゾムシクイ・メボソムシクイ**、日本産鳥類目録第7版で独立種となった**オオムシクイ**などがあるが、体長(嘴から尾の長さ)が12~13cmと日本の鳥の中では小さい鳥のグループである。ムシクイ科の鳥は餌の昆虫類を探し木々の葉の中を動く姿が似ており、上面の色が黄緑色で葉の色に似ていることから、歌声の違うさえずりを聞ける春と違って、秋はわかりにくい。



8/24も木の葉の向こうを動いており、肉眼ではムシクイとしかわからなかったが、添付写真には木の葉の切れ間から**センダイムシクイ**の特徴、**灰白色の頭尖線**が確認できた。

**センダイムシクイの名前の由来**として、①轉りを「チョチョビー」と聞きなされ、「千代千代」の漢字が充てられ「せんだい」と読まれこと、②「ツル チョ ギミー」=「鶴千代君」と聞きなされ、歌舞伎「伽藍先代萩」(めいぼくせんだいはぎ)の鶴千代君にちなんだ「仙台」と表示されることになった、との説がある。



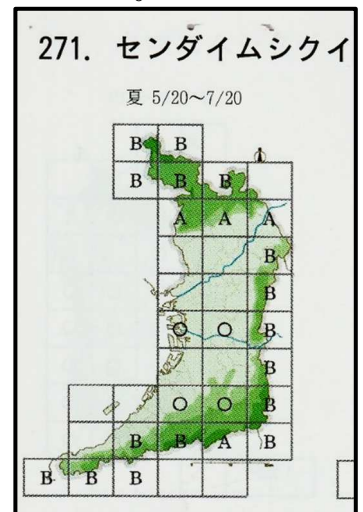
### I-① 万博探鳥会でのセンダイムシクイ観察頻度

**センダイムシクイ**のなどムシクイ科の鳥の万博探鳥会での**観察頻度**(=観察回数/探鳥会回数)は5~15%と低く変動も大きい、実際にいても気づかないことが多いと思われる。

### I-② 大阪府のセンダイムシクイ 大阪府鳥類目録 2016 →

エゾムシクイ・メボソムシクイなどは大阪府内では繁殖しておらず、旅鳥である。大阪府鳥類目録によれば、**センダイムシクイ**は大阪府をぐるり取り巻く北摂山地、生駒・金剛山地、泉南山地には繁殖しており、平は高槻市本山寺近くで繁殖しているのを見たことがある。

万博公園ではキビタキに続いてコサメビタキの繁殖が確認されているので、今後センダイムシクイの繁殖があるかどうか期待し、注視していきたい。

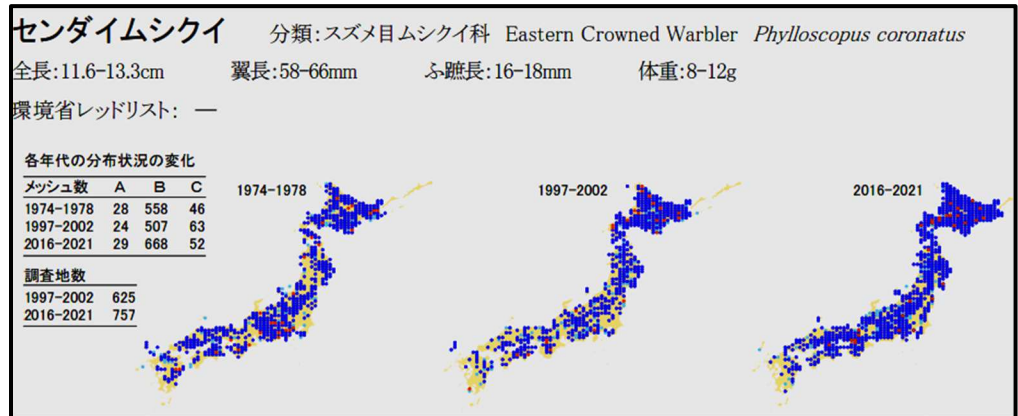


### I-③ 全国のセンダイムシクイ繁殖状況

**全国鳥類繁殖分布調査報告 2016-2021年(鳥類繁殖分布調査会)**

九州以北の全国に夏鳥として分布する。1000m以下の林に生息する。記録メッシュ数は1990年代と比べ増加しており、1990年代と2010年

代の比較可能な現地調査の記録を見ても、センダイムシクイが記録できた地点は、625 地点から 757 地点へと増加していた。ただし、エゾムシクイと同様にシカの増加とその摂食で林床植生が衰退した場所では、減少も報告されており、ウグイスやコマドリなどよりは遅れてその影響が出ているので (Ueta 2020)、今後の変化に注意が必要である。



## II 先月 2024 年 8 月万博公園モニタリング結果 (写真:橋本昌宗)

第 2 土曜日 8/10 の定例探鳥会は夏休みにしたが、リーダーのみによるモニタリングを第 4 土曜日 8/24 に開催、猛暑が予報されているので、午前 7 時 30 分スタートで行った。「東の広場」でチョウゲンボウ、「日本庭園」では久しぶりに姿を見せたオオタカ、「大地の池」でカワセミの親子、そして落葉樹林に秋の渡り鳥の走りセンダイムシクイを確認した。園内で繁殖したと思われる留鳥たちが多く、ハシボソガラス・ハシブトガラス・ヤマガラ・シジュウカラ・メジロ・ムクドリ・スズメ・カワラヒワなどの群を各所で確認することができ、トータル観察種も 26 種となった。



カワラヒワ幼鳥



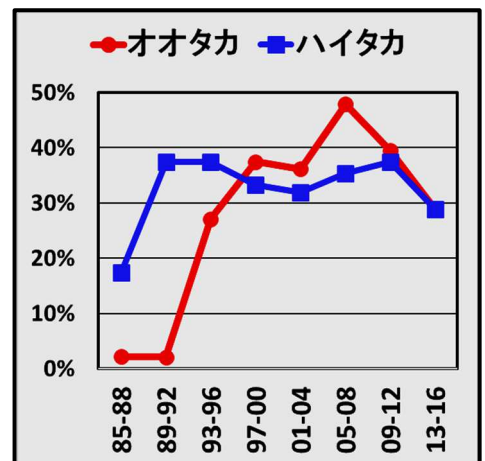
ヤマガラ



メジロ

## III 万博公園のオオタカ(人工林の「万博の森」で繁殖・子育て)

これまで万博公園探鳥会のシンボル鳥として、「キジ」「カワセミ」「キビタキ」を紹介してきた。それに続く鳥として万博公園内で繁殖・子育てをしたことがある「オオタカ」を紹介する(残念ながら今年は繁殖していない)。



### III-①万博探鳥会でのオオタカ観察頻度 →

万博探鳥会は 1985 年にスタートしたが、その後 2016 年までの探鳥会での観察頻度% (= 観察回数 / 探鳥会回数)、4 年毎にまとめた結果を冬鳥ハイタカと比較した。オオタカが万博公園で営巣していたのは、2007 年～2015 年、そして昨 2023 年である。しかし、右図では繁殖していた 2005～2008 年にオオタカのピークがあるものの、冬鳥のハイタカと同レベルで、オオタカが繁殖したとは思えないほどである。

そんな中、万博公園でオオタカが繁殖・子育てをした理由は、

- ① 茨木市の里山林が「彩都」として開発され、営巣していたオオタカが追われたこと
- ② そのオオタカが万博公園の樹林を、里山林のように営巣できると評価したこと
- ③ 万博公園の樹林が密林化し、来園された人々にオオタカの営巣を気づかせなかったこと
- ④ 万博事務所が「生物調査中」として、オオタカ営巣個所を立ち入り禁止区域としたこと

などによると思われる。



オオタカ 2010 年(有賀憲介氏)

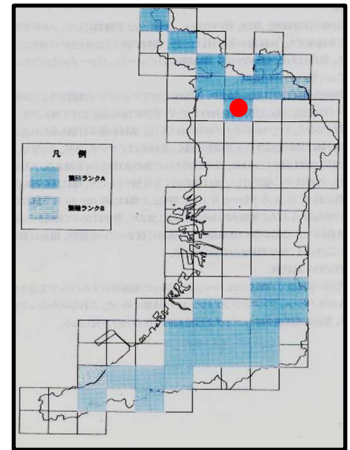


オオタカのヒナ 2012 年(廣瀬達也氏)

### Ⅲ-② 大阪府・オオタカ繁殖調査結果(2000～2001 年)→

日本野鳥の会大阪支部が中心になって大阪府内のオオタカ調査が行われ、**2000 年 43 番(つがい)中 14 番**の繁殖確認、**2001 年 48 番中 16 番**の繁殖が確認されている。右図はその確認場所であるが、北摂山地と金剛～和泉葛城山地に生息していたことがわかる。

北摂山地の一番南側の●プロット位置が上述の「彩都」で、その南にある万博公園では、当時営巣していなかった。



### Ⅲ-③ オオタカの全国情報(小海途銀次郎氏による)

上記 2000 年大阪府のオオタカ調査で中心に活動された小海途銀次郎氏は、2019 年頃「**オオタカの大阪物語 40 年**」を集約されている。

そこには、大阪府だけでなく**全国のオオタカ生息状況(環境省集約)**が記載されている。

オオタカの生息状況の変遷と現状		— 環境省希少種保全推進室 —		
昭和 59 (1984) 年	平成 8 (1996) 年	平成 17 (2005) 年	平成 20 (2008) 年	平成 20 (2008) 年
300～480 羽	1000 羽以上	少なくとも 1824～2240 羽	関東周辺 10 都県で推定 5818 羽 (3898 ~ 10392)	環境省保護指針策定調査 5010～8950 羽 関東周辺+北海道+全国

このオオタカ生息数が基礎になり、オオタカの保護・法律の制定・改廃があった。

1993 年:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」国内希少種として指定

1998 年:「改定・日本の絶滅のおそれある野生生物・RDB」絶滅危惧Ⅱ類指定

2006 年:「改定・日本の絶滅のおそれある野生生物・RDB」準絶滅危惧種にレベルダウン

2017 年:「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少種指定が取消

小海途氏の集約結果による大阪府での近年の繁殖調査は、2000～2001 年調査時より減少している傾向(半減)が見られ、オオタカが「種の保存法」の指定から取り消されるほど、オオタカが増加している関東を中心とする全国状況とは異なっているようである。

万博公園では **2023 年に 8 年ぶりにオオタカの子育てを確認**したが(但し、巣立ち直後の幼鳥が落下)、2024 年は営巣しないまま終わった。8 月モニタリングで、オオタカの飛翔を確認したので、2025 年以降の営巣を期待したい。

## IV 万博公園探鳥会観察種 チェックリスト

万博 NO	大阪 NO	種名	2024											大阪 NO
			1 13	2 10	3 9	4 13	5 11	6 8	7 13	8 24	9 14			
1	24	オシドリ	2	2	25								24	
2	26	オカヨシガモ											26	
3	27	ヨシガモ											27	
4	28	ヒドリガモ											28	
5	30	マガモ	2			2		1					30	
6	32	カルガモ	32	26	28	9	16	27	11	4			32	
7	35	オナガガモ											35	
8	38	コガモ											38	
9	42	ホシハジロ			1								42	
10	46	キンクロハジロ	1	2									46	
11	58	ミコアイサ											58	
12	62	カイツブリ	4	7	1	3	5	7	7	3			62	
13	74	キジバト	5	1	4	8	4	2	2	9			74	
14	78	アオバト		5	1								78	
15	127	カワウ	3	6		8	7	2	3	5			127	
16	139	ゴイサギ											139	
17	144	アオサギ	2	1	2	1	1	1	2	2			144	
18	146	ダイサギ		1	1								146	
19	148	コサギ		5	2	3		1	2	2			148	
20	166	クイナ											166	
21	174	バン											174	
22	175	オオバン											175	
23	187	ツツドリ											187	
24	192	アマツバメ											192	
25	195	ケリ											195	
26	202	イカルチドリ											202	
27	203	コチドリ											203	
28	219	タシギ	2	2	2	2							219	
29	244	イノシギ											244	
30	286	ユリカモメ											286	
31	339	ミサゴ	1	1									339	
32	340	ハチクマ											340	
33	342	トビ		1			2						342	
34	354	ツミ											354	
35	355	ハイタカ	3	1	1								355	
36	356	オオタカ	1	4									356	
37	357	サシバ											357	
38	358	ノスリ			1	1							358	
39	383	カワセミ	4	2	6	1	3	5	3	2			383	
40	388	アリスイ											388	
41	390	コゲラ	5	5	2	5	2	2	6	1			390	
42	401	チョウゲンボウ		1	1	1		3	1	1			401	
43	407	ハヤブサ											407	
44	412	サンショウクイ											412	
45	418	サンコウチョウ											418	
46	420	モズ	2	1	1								420	
47	435	ハシボソガラス	15	7	5	13	15	18	11	31			435	
48	436	ハシブトガラス	32	38	48	34	48	32	27	33			436	
49	442	ヤマガラ	4	8	2	2	2	8	1	9			442	
50	445	シジュウカラ	14	18	17	23	17	16	12	26			445	
51	457	ツバメ				6	27	22	11	1			457	
52	459	コシアカツバメ					3	5	1	4			459	

万博 NO	大阪 NO	種名	2024											大阪 NO
			1 13	2 10	3 9	4 13	5 11	6 8	7 13	8 24	9 14			
52	463	ヒヨドリ	67	52	26	13	12	8	18	15			463	
53	464	ウグイス	2	1	5	11	6	8	6				464	
54	465	ヤブサメ											465	
55	466	エナガ	8	9	6	2	6			3			466	
56	476	オオムシクイ											476	
57	477	メボソムシクイ											477	
58	479	エゾムシクイ											479	
59	480	センダイムシクイ					1			1	1		480	
60	485	メジロ	6	4	7	8	11	17	14	34			485	
61	492	オオヨシキリ											492	
62	501	ヒレンジャク											501	
63	506	ムクドリ	14	2	1	4	14	77	14	44			506	
64	508	コムクドリ											508	
65	514	トラツグミ		1									514	
66	521	シロハラ	1	3	4	8							521	
67	522	アカハラ				3							522	
68	525	ツグミ	136	3	44	35							525	
69	530	コマドリ											530	
70	536	ルリビタキ			1								536	
71	540	ジョウビタキ	7	3	5	1							540	
72	542	ノビタキ											542	
73	549	イノヒヨドリ		1	1								549	
74	552	エゾビタキ											552	
75	554	コサメビタキ				2							554	
76	558	キビタキ				1	1	2					558	
77	561	オオルリ											561	
78	568	ニューナイスズメ					11						568	
79	569	スズメ	31	32	4	21	23	19	33	71			569	
80	573	キセキレイ											573	
81	574	ハクセキレイ	16	12	15	9	6	13	9	7			574	
82	575	セグロセキレイ	4	2		1			1	3			575	
83	580	ビンズイ											580	
84	584	タヒバリ											584	
85	586	アトリ	18	31	32	2							586	
86	587	カワラヒワ	81	97	65	10	15	23	9	32			587	
87	600	シメ	8			2							600	
88	602	イカル					3	1					602	
89	610	ホオジロ											610	
90	617	カシラダカ											617	
91	624	アオジ	2		2	2							624	
92		ドバト	○	○		○	○	○	○	○				
93		ソウシチョウ												
94		カッコウSP												
95		ムシクイSP												
96		タカSP												
97	37	トモエガモ		3									37	
98														
99														
種類数(種)			36	39	36	37	26	26	25	26				
個体数(羽)			538	398	369	268	250	320	205	345				
天候			晴	晴	曇	晴	晴	晴	曇	晴				
参加者数(人)			23	34	35	31	30	24	12	6				

## V 来月の万博公園探鳥会 10月12日(土)

集合 9:30 自然文化園中央口 終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

内容 10月になれば暑さもおさまるので、バードウォッチングに最適の日々が予想される。秋の渡り鳥のコサメビタキ・センダイムシクイ・キビタキなどとの出会いを楽しみにご参加ください。

**参加予定の方 今月同様大阪支部 HP ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) 連絡でも OK。